

C 5 ○宮坂佳代子^{*}，石田健一郎^{*}，加藤季夫^{**}，
原 慶明^{*}

Gonyostomum depressum の微細構造と淡水産ラフィド藻類
の分類

演者らは日本各地の淡水域に生育するラフィド藻類の分布調査と分類の研究を行っている。昨年8月22日に山形県南陽市郊外の白龍湖で、Gonyostomum depressum がミドリムシの1種とともに優占的に生育している現場に遭遇し、採取した試料水から培養株を確立した。なお、本藻の生育は北海道で確認されているが（Hada 1959:Rhaphidomonas depressum），本州では最初の記録となる。

この G. depressum の培養株を用い、形態と微細構造を観察し、すでに調査した G. semen と G. latum の2種と比較した。既知の両種は葉緑体や収縮胞，あるいは鞭毛の出方など細胞小器官の配列などの基本的な構造は共通するが，細胞外形や粘液胞の分布などの形態的特徴は明瞭に区別でき，しかも G. latum の葉緑体に光学顕微鏡では検出しにくい半埋没型のピレノイドが存在していた。ラフィド藻の分類ではピレノイドの有無がしばしば属レベルの識別形質として取り挙げられ，その点で G. latum の取り扱い（Gonyostomum の基準種はピレノイドを欠く G. semen）と G. depressum の葉緑体にピレノイドが有るか無いか，分類学的な興味をもたれていた。この調査で、G. depressum の葉緑体にもピレノイドが存在することを確認し，また，葉緑体以外の細胞小器官の構造や配列などの知見を得たので，近縁の Melotrichia bacillata を加えて比較し、Gonyostomum 属および淡水産ラフィド藻の分類を再検討した。

（^{*}山形大・理・生，^{**}國學院大・自然）

3. 研 究 実 績

この章に収録した論文は、いずれ学術雑誌に原著として発表される予定です。
特に引用を希望される方は、引用の可否について下記へお問い合わせ下さい。

問い合わせ先

名前：原 慶明

住所：990-0807 山形市小白川町1-4-12 山形大学理学部生物学科

電話：023-628-4610

FAX：023-628-4625

e-mail: hara@sci.kj.yamagata-u.ac.jp